

2016  
2016年2月21日(日)

10時～17時

伊勢市労働福祉会館 2F大会議室

伊勢市勢田町 618-13 0596(20)1105 (三重県伊勢庁舎隣)

入場無料

●記念講演 13時30分～15時00分

『続・造船図面を読む愉しみ』

～市川造船建造の初期洋式木造漁業指導船について～

講師：伊藤 政光 氏

鳥羽商船高等学校 名誉教授

第六番  
大和形船



造船界の變遷の長圖

あなたはご存知ですか。かつて大湊のまちで、数々の歴史的に知られる木造船舶が建造され、日本の造船業の礎が私たちの住むこの伊勢の地で築かれていったことも。今も伊勢市に残る資料の中には、南極観測船「しらせ(全長一二四㍎)」の名前の由来となった白瀬轟(のぶ)中尉(一八六一～一九四六年)を、一九一一年、無事に南極へ送り届けた木造船「開南丸(前身は第二報効丸)」(全長三〇㍎)に関するものもあります。

このほかにも、木造船日本丸の模型設計図面、木造船建造資料、模型や貴重な船具の数々など、歴史的、学術的にも大変貴重な資料が数多く保管されています。

今回は明治時代の水産試験場木造試験船の貴重な設計図面を中心に展示を行います。

当時の技術の高さ、歴史と文化の大切さを感じ取って頂ければと思います。

主催：伊勢の造船資料を継承する会 / 後援：伊勢市・伊勢市教育委員会

協賛：全日本造船機械労働組合・連合三重伊勢志摩地域協議会・伊勢地区労継承センター・大水門会

(問い合わせ先：伊勢地区労継承センター0596(25)1697 月一金 13:00～17:00)